

昭和35年春季年会（東京）

# 講演予稿集

於 東大理学部2号館講堂

日本天文学会

# 日本天文学会 1960 年春季年会

## プ ロ グ ラ ム

◇日 時 昭和35年5月12日(木), 13日(金), 14日(土)

◇場 所 東大理学部2号館講堂

	午前 (9時より)	午後 (1時より)	夜
12日 (木)	研 究 発 表	研 究 発 表	シ ン ポ ジ ウ ム
13日 (金)	研 究 発 表	研 究 発 表	懇 親 会
14日 (土)	研 究 発 表	研 究 発 表	シ ン ポ ジ ウ ム

講演予稿集について：特別会員には1部ずつ無料で配布しますが、その他の方および特別会員で2部以上希望される方は1部につき実費40円、送料8円をお送り下さい。年会講演の当日会場でもおわけします。

☆ 12日正午より評議員会, 13日午前研究発表後総会, 14日正午より理事会を開催致します。

## シ ン ポ ジ ウ ム

5月12日夜, 松波直幸, 球状星団研究の最近の情勢

青木信仰, 月の運動と暦表時の決定

5月14日夜, 北村正利, 大熊座W型近接連星について

細川良正, 近接連星における気流について

第 1 日 5 月 12 日 (木)

〔午前〕 (9時より)

1. 若生康二郎 (緯度観測所): 緯度観測値の独立性	10
2. 弓 滋 ( // ): 水沢の局地 Z	10
3. 服部 忠彦 ( // ): チャンドラー周期変化と月の実験項との 関係	7
4. 服部忠彦 (緯度観測所): 章動定数の計算方法について	7
5. 関口直甫, 松本惇逸 (東京天文台): コンクリート・ビヤールの熱によ るゆがみについて (II)	7
6. 関口直甫 (東京天文台): 天球の極の揺動について	7
7. 坪川家恒, 柳沢道夫 (地理調査所): 水晶時計の秒信号発生装置	10
8. 角田忠一 (緯度観測所): 地球自転速度変動とマントルと核の電磁結 合について	10
9. 高木重次, 角田忠一 (緯度観測所): 水沢時と原子時の比較	10
10. 飯島重孝, 藤原 清 (東京天文台): ジェノスアイレス—東京間の電 波伝播時間	7
11. 飯島重孝, 岡崎清市 (東京天文台): 原子時系の現精度と暦表時の加 速の検討	10

〔午後〕 (1時より)

12. 高木重次, 切田正実 (緯度観測所): PZT による緯度の日週変化観 測のプログラムと 1959 年に於ける結果	10
13. 安田春雄 (東京天文台): ワシントン, リッチモンド, 東京, 水沢の PZT 星の位置について (II)	5
14. 山崎真義 (水路部): 恒星視位の精密な求め方について	10
15. 関口直甫 (東京天文台): 静止人工衛星の秤動について	5
16. 竹内端夫 (東京天文台): 人工衛星 1958 Epsilon の軌道改良	7
17. 青木信仰, 溝原光夫 (東京天文台): FACOM-128B による掩蔽の 整約	10
18. 檀原 毅 (地理調査所): 等緯線掩蔽の整約について	10
19. 中野三郎, 安田春雄, 原 寿男 (東京天文台): 1959 年の月の子午 線観測	7
20. 広瀬秀雄 (東京天文台): Watts と Weimer の月縁図の Datum について	10
21. 上田 穰 (京女大): Q 係数について	10
22. 広瀬秀雄, 内田正男 (天文台): Perrine-Mrkos 周期彗星の運動につ いて	10
23. 広瀬秀雄 (東京天文台): IBM 650 による preliminary orbit 決定 のプログラムについて	10

第 2 日 5 月 13 日 (金)

[午前] (9時より)

24. 能田忠亮 (大阪学芸大): 梵曆護法運動……………10
25. 成相秀一 (広大理論物理学研究所): 或種の奇妙な時空について……………10
26. 進士 晃 (水路部): ケフェイドによる銀河系の大きさについて……………10
27. 江本祐治 (京大理): 高銀緯における微光星の銀河廻転……………10
28. 清水 強 (京大理): 銀河系内の恒星運動 (II)……………7
29. 高瀬文志郎, 松波直幸, 下田真弘 (東大理, 東京天文台): 球状星団の光度, 半径の変化……………8
30. 石田薫一 (東京天文台): 小マゼラン雲における星と星間物質の分布について……………5
31. 大脇直明 (水路部): 星団の外被形成について……………10
32. 鍋本政枝 (東大理): 銀河吸収層の optical thickness について……………8

[午後] (1時より)

33. 進士 晃 (水路部): 日本海溝で採取された流星塵について……………10
34. 森久保茂 (日本天文研究会々員): 流星塵の5年間の結果を検討して……………10
35. 宮本正太郎 (花山天文台): 月面の地質学的研究, アルフォンスス火口について……………10
36. 宮本正太郎 (花山天文台): 火星大気の大循環系について……………10
37. 甲斐敬造 (東京学芸大): Type I パーストと黒点との関係……………5
38. 内田 豊 (東大理): 第II型パーストの excitor について……………10
39. 内田 豊 (東大理): 第III型パーストの excitor について……………10
40. 鈴木重雅, 土屋 淳, 森本雅樹 (東京天文台): Type IIIパーストの観測……………10
41. 高倉達雄, 甲斐敬三 (東京天文台, 東京学芸大): Type IVパーストのスペクトル……………10
42. 土屋 淳, 森本雅樹 (東京天文台): 太陽電波の異常シンチレーション……………10
43. 郷 鉄夫 (郵政省電波研究所): SIDに関連する輻射について……………10
44. 田中春夫, 柿沼隆清 (名古屋大学, 空電研究所): マイクロ波太陽電波パーストについて……………10
45. 田中春夫, 柿沼隆清 (名古屋大学, 空電研究所): 太陽電波 S成分の輻射源について (II)……………10
46. 柿沼正二 (京大理): 太陽電波パーストのメカニズムについて……………7
47. 河饒公昭 (東京天文台): coronal condensation について……………7
48. 森本雅樹, 渋谷暢孝 (東京天文台): ラジオ星の予午線観測(II)……………5
49. 守山史生 (東京天文台): 電波による HII region の観測について……………10

第 3 日 5 月 14 日 (土)

[午前] (9時より)

50. 鈴木義正 (京都学芸大学): 黒点の暗部における光斑について…………… 8
51. 大城義名, 清水一郎, 浜名茂男 (東京天文台): electronic isophotometer  
に就て…………… 5
52. 長沢進午, 中込慶光 (東京天文台): コロナ緑輝線強度と太陽面現象  
との関係…………… 5
53. 日江井栄二郎 (東京天文台): コロナのコンディションに於ける強度変化………… 5
54. 牧田 貢 (東京天文台): 太陽黒点のモデル…………… 7
55. 下小田博一 (愛知学芸大): solar photospheric level に於ける  
large-scale organized motion について…………… 10
56. 大脇直明 (水路部): 1958 年 10 月 12 日のコロナ写真測光結果…………… 10
57. 斉藤国治, 秦 茂 (東京天文台): 1958 年の金環食における金環位  
相中の光度曲線からきめた太陽の縁辺減光…………… 10
58. 佐藤直宜 (東大理): スワロフ島日食観測に於けるコロナの偏光分  
光写真…………… 7
59. 清水 強, 今川文彦, 高柳和智 (京大理): 花山天文台における光電  
三色測光 (II)…………… 5
60. 北村正利 (東京天文台): 食変光星 R Canis Majoris の光電測光…………… 10

[午後] (1時より)

61. 小暮智一 (京大理): Be 星の Balmer decrement について (III)…………… 7
62. 近藤雅之 (東大理): A 型星についての二, 三のノート…………… 5
63. 大沢清輝 (東京天文台): A 型星の量的分類法について…………… 5
64. 藤田良雄, 山下泰正 (東大理): V Aql のクーデ・スペクトルにつ  
いて (V)…………… 5
65. 上条文夫 (東大理): 長週期変光星の大気…………… 7
66. 平山 淳 (東大理): 混合距離理論による太陽の水素対流層…………… 10
67. 下田真弘 (東大理): 種族 II の主系列星の不透明度について…………… 5
68. 下田真弘 (東大理): 対流外層をもつ巨星のモデル (VI)…………… 10
69. 上杉 明 (京大理): 白色矮星のモデル大気について (II)…………… 7
70. 上野季夫 (京大理): 拡散マトリックスに就いて…………… 10
71. 大崎 徹, 小暮智一 (京大理): 均質大気における定常衝撃波について………… 7
72. 矢田文太 (京大理): HI 領域について—オリオン星雲のスペクトル—………… 7
73. 大崎 徹 (京大理): 禁制線放出にともなう冷却凝縮について…………… 7
74. 加藤正二 (東大理): 粘性, 熱伝導を考慮した重力不安定…………… 5
75. 加藤正二, 海野和二郎 (東大理): ポリトロープ大気の対流不安定 (III)………… 10
76. 海野和二郎 (東大理): 星間雲の重力不安定性…………… 10